

※イベント情報など
日々配信中!

個性を尊重した働き方を目指して

9月6日(金)、若柳ドリーム・パルを会場に「令和6年度栗原市障がい者就労セミナー」を開催しました。

この催しは、障害を持つ人が住み慣れた地域で暮らし続けるために必要な障害者雇用について、理解を深めてもらおうと開催したものです。

当日は、障害者雇用をする事業所で工夫している点の他、障害を持つ人が働くことで感じたやりがいなどの事例発表を行い、参加した約150人が真剣に聞き入りました。



〔左から〕岩谷さん、高橋さん

岡山を舞台にナイスプレー

10月1日(火)と2日(水)に、岡山県倉敷市の水島緑地福田公園で開催される「第37回全国グラウンド・ゴルフ交歓岡山県大会」に、岩谷勉さん、高橋隆雄さん(いずれも一迫保呂羽)が出場します。

2人は、昨年10月に行われた宮城県大会に出場し、全国大会への切符を勝ち取りました。全国のグラウンド・ゴルフ愛好者が集まるこの大会に向け2人は「会場は芝のサッカーコートで、これまでのグラウンドコンディションと違いますが、これまでの経験を生かし入賞したい」と、語りました。

長寿100歳おめでとうございます

9月7日(土)に後藤サナコさん(栗駒桜田下)が、11日(水)に狩野タキさん(一迫金田中町)が、12日(木)に三嶋としみさん(瀬峰下荒町)が100歳を迎えられました。

後藤さんは、好き嫌いせずに一日三食をしっかり食べ、元気に楽しく過ごしています。

狩野さんは、施設で開催される行事などを楽しみながら、一日一日を穏やかに過ごしています。

三嶋さんは、相撲や野球のテレビ観戦を楽しみに、日々を過ごしています。



冥福と平和を祈る

9月7日(土)、栗原文化会館で「栗原市戦没者追悼式」を挙行し、戦没者の遺族や関係者など約250人が参列しました。

黙とうの後、佐藤市長が「戦争を二度と繰り返さぬよう過去を謙虚に振り返り、次の世代に悲惨な戦争の教訓を継承する責任がある。市民の皆さんと共に明るい未来を築いていきたい」と式辞を述べ、平和への誓いを新たにしました。

また、参列者全員で献花を行い、戦没者の冥福と恒久平和を祈りました。



- ①迫力のある陸上自衛隊東北方面音楽隊による演奏
- ②高所作業車に乗り、普段は見られない景色を楽しみにする子どもたち
- ③栗原産パプリカのジャムを添えたミルクアイスの振る舞い
- ④多くの人にぎわった出展コーナー
- ⑤会場を盛り上げたダンスパフォーマンス

栗原市民まつり大盛況

8月31日(土)、イオンスーパーセンター栗原志波姫店特設会場で「2024栗原市民まつり」を開催しました。

ステージでは、陸上自衛隊東北方面音楽隊の演奏や、ダンスパフォーマンス、さとう宗幸さんによる歌とトークショーが行われ、会場を盛り上げました。また、栗原市出身の坂田幹靖シェフによる栗原産食材を使ったミルクアイスの振る舞いの他、特産品販売、お楽しみ抽選会などが行われ、会場を訪れた2万3千人が祭りを楽しみました。

輝く日本一くりはら大賞を贈呈

文化・芸術、スポーツなどの分野で日本一に輝き、市民へ勇気と希望を与えた人に贈る「輝く日本一くりはら大賞」を、4人に贈呈しました。

このうち、9月2日(月)は、若柳中学校3年の千葉晴翔さん(若柳有賀)、栗原南中学校3年の佐藤健さん(高清水9区)、金成小中学校9年の佐藤芹成さん(金成小堤)に記念の盾を贈呈。県北を拠点にする硬式野球チーム「宮城仙北ボーイズ」の3人は、8月に大阪府大阪市など9会場で開催された「エイジェックカップ第55回日本少年野球選手権大会」に登場し、チーム初の全国大会優勝に貢献しました。

3人は「これまでの練習、みんなの思いが一つになった成果が出て本当にうれしいです」と、受賞の喜びを語りました。

また、6日(金)は、築館中学校3年の氏家颯さん(一迫一本松)に記念の盾を贈呈。氏家さんは、8月に福井県福井市で開催された「第51回全日本中学校陸上競技選手権大会」の男子四種競技に出場し、初優勝を果たしました。

氏家さんは「これまでの応援に感謝しています。10月に三重県で開催されるJOCジュニアオリンピックカップU16でも入賞したい」と、受賞の喜びを語りました。



〔選手左から〕千葉さん、佐藤(芹)さん、佐藤(健)さん



▲男子四種競技に出場した氏家さん